

発行

令和6年5月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



ホームページ

[tokusenji-](http://tokusenji-sendai.com)

[sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)



Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI

令和六年能登半島地震 チャリティーイベントを開催しました

少し前のことになりましたが、去る四月七日(日)東松島在住のヨガインストラクター熱海和美さんによるヨガとトークのチャリティーイベント「お母さんは行方不明?」を開催しました。熱海さんは坊守の友人で四人のお子さんを持つお母さん。そんな熱海さんが初めての海外旅行、しかもまったくの一人旅、そして行先はなんとインド!で経験したエピソードの数々をヨガとトークで詳しく楽しくお伝えいただきました。

そもそも、熱海さんがインドに行くことを知ったのは、彼女がビザの申請に四苦八苦していた一月。インドと言えばお釈迦様のお生まれになった国で仏教にもなじみの深い国ですので「帰ったらお話し聞かせてね。」と話していたところ、二月下旬インド滞在中の熱海さんから「この経験をぜひ、いろんな方に伝えたい。そしてそれをチャリティーイベントとして、能登半島地震の支援につなげたい」との熱いメッセージをいただきました。熱海さん自身も東日本大震災では津波による被害を受けており、また能登半島の寺院・康順寺の坊守さんでヨガインストラクターをしている共通の友人の存在もあって、実際の被害を間近



に感じていたため、すぐに実施に至りました。当日は熱海さんの友人やヨガの生徒さん、徳泉寺でヨガを習っている生徒さんやご門徒さんなど、幅広い年代の方が遠くは登米や名取からもご参加くださってインドの美味しいチャイをいただきながら、たっぷり半日インドの文化に触れました。

また、普段の催し物では住職が法話をするのですが今回初めて、坊守が僧侶として法話を担当させていただきました。開催日がちょうどお釈迦様のお誕生日(四月八日)前日でしたので、お釈迦様と仏教の誕生についてお話ししました。

集まった収益金に関しては石川県志賀町の康順寺さんにお送りし、現地での避難所や仮設住宅などへの支援に使っていただくことになりました。

東日本大震災を振り返っても復興には年単位での支援の継続が必要だと感じます。徳泉寺でも引き続き、できる支援を探りながら、多くの人とつながっていけたらいいなあと考えています。

倒壊した康順寺の山門と鐘撞き堂

